製品名: ACSS1（アセチル-K642）ウサギポリクローナル抗体
カタログ番号: APRab06169
研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	ACSS1
別名	Acetyl-coenzyme A synthetase 2-like, mitochondrial (EC 6.2.1.1) (Acetate--CoA ligase 2) (Acetyl-CoA synthetase 2) (AceCS2) (Acyl-CoA synthetase short-chain family member 1)
遺伝子 ID	84532.0
SwissProt ID	Q9NUB1
免疫原	ヒト ACSS1 由来の合成アセチルペプチド。アミノ酸範囲：K642

背景

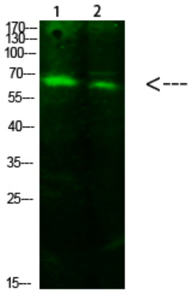
この遺伝子はミトコンドリアのアセチル CoA 合成酵素をコードする。マウスの類似タンパク質は、酢酸からアセチル CoA への変換を

触媒することで、トリカルボン酸回路において重要な役割を果たしている。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリアントが観察されている。[RefSeq 提供、2011 年 11 月],触媒活性：ATP + 酢酸 + CoA = AMP + 二リン酸 + アセチル CoA.,機能：酢酸をアセチル CoA に変換し、トリカルボン酸回路を通じた酸化反応に利用して ATP と CO2 を生成する。,配列注意：配列エラー。,類似性：ATP 依存性 AMP 結合酵素ファミリーに属する。,

研究分野

解糖系/糖新生;ピルビン酸代謝;プロパン酸代謝;

画像データ



ACSS1（アセチル-K642）ウサギポリクローナル抗体（1:1000 希釈、4℃、一晩）を用いた 1,293T 2,hela 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体：ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800（1:5000 希釈、25℃、1 時間）